

20/3 期は計画比若干上振れで着地し、21/3 期は回復も寄与し 22/3 期は再度最高益更新へ

株価 3560 円 (5/11) 時価総額 1484 億円 (5/11) 発行済株 41695 千株 (5/11)

PER (21/3DO 予 : 12X) PBR (1.38X) 配当 (21/3DO 予) 105 円 配当利回り : 2.9%

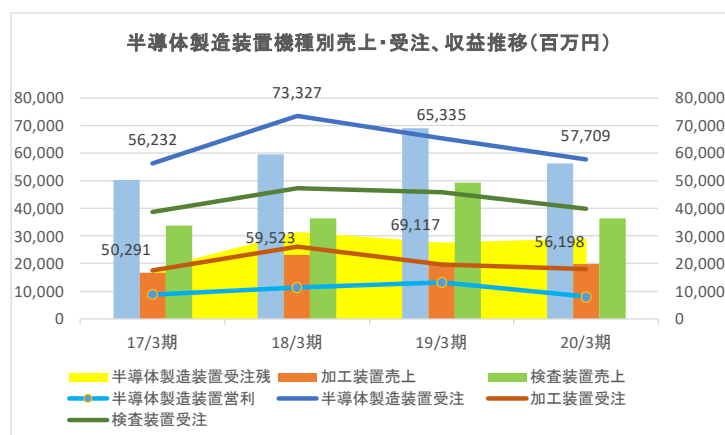
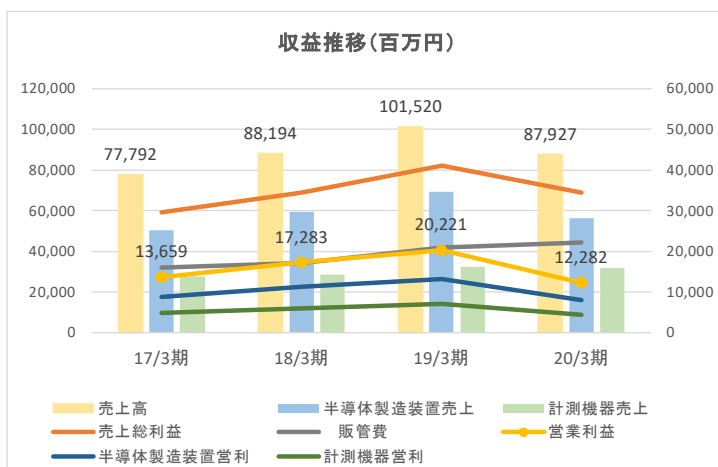
要約

- ・ 20/3 期は 13.4%減収 39.3%営業減ながら受注が 19/3Q4 ボトムに拡大続き収益底入れ
- ・ 21/3 上期予想のみ開示し 11.9%増収 36.0%営業増で通期も収益上伸期待高まる
- ・ 22/3 期はコロナ影響一巡で半導体製造装置に加え計測機器も回復し収益上伸見通し
- ・ 株価は 22/3 期最高益更新期待で年初来高値 4385 円目標

20/3 期は 13.4%減収 39.3%営業減ながら受注が 19/3Q4 ボトムに拡大続き収益底入れ

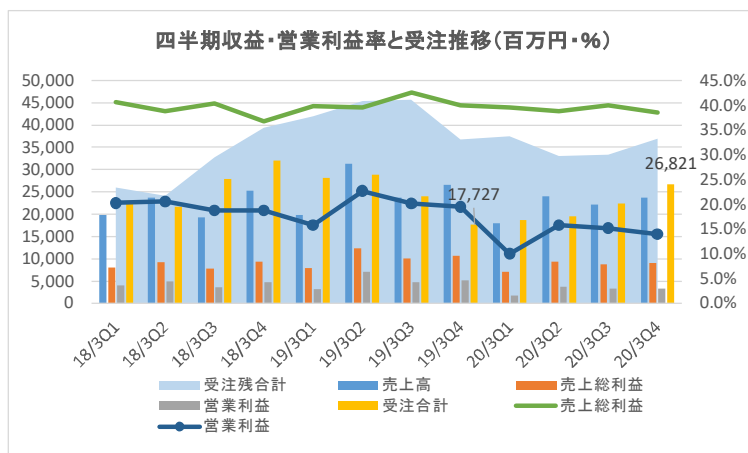
20/3 期決算が 5/11 に開示され、電話での説明会が実施された。20/3 期は売上高 879.27 億円 (13.4%減)、営業 122.82 億円 (39.3%減) 経常利益 123.61 億円 (40.6%減)、税引利益 71.57 億円 (51.2%減)、受注高 875.76 億円 (11.5%減) となった。Q2 時の増額修正予想に対して、売上高で 19.27 億円、営業利益で 2.82 億円、受注で 15.7 億円上振れして着地した。基本的には 5G 向けにロジックデバイス、電子部品向け検査装置が好調を持続、収益を押し上げた。

セグメント別では半導体製造装置事業が売上高 561.98 億円 (18.7%減)、営業 79.15 億円 (40.0%減)、受注 577.09 億円 (11.7%減) となった。プローバが 26%減収となるも、受注は 5G 向けなどが四半期ごとに拡大し 13%減、検査工程向けは中



国、日本向けに受注・販売とも堅調に推移した。なお受注残高は 291.82 億円（5.5%増）となっているが、これはコロナウイルス影響で一部売上が期ずれした事も含んでいる。計測器事業は売上高 317.28 億円（2.1%減）、営業利益 43.66 億円（37.9%減）、受注高 298.66 億円（11.0%減）と、自動車関連設備投資、工作機械受注低迷など、ユーザー業界の不振が影響し、収益が低迷した。

四半期推移では収益面での本格回復とはなっていないものの、受注は期を追う毎に拡大し、受注残高も増加し、21/3 期収益に繋がる動きとなっている。



21/3 上期予想のみ開示し 11.9%増収 36.0%営業増で通期も収益上伸期待高まる

足元、コロナウイルス感染の不透明感から、21/3 上期予想のみ開示し、売上高 470 億円（11.9%増）、営業利益 76 億円（36%増）、経常利益 76 億円（32.4%増）、税引利益 56 億円（31.4%増）、受注高 430 億円（12.3%増）予想とした。売上面では半導体製造装置で期ずれした受注残の消化もあり 29%増収、受注も 5G 関連に加え、ポストコロナに向けデータセンタやリモートワークなどで PC 需要などの拡大でメモリ向けの受注拡大から 31%増を見込む。一方、計測機器は自動車、工作機械向けなどに苦戦し、収益の落ち込みが続こう。利益面では MIX 良化で収益率が向上し、増益率が高まろう。現状、半導体製造装置ユーザーが中国、韓国、台湾などの比率が高く、生産面でも大きな支障が出ていないことから、会社想定並みの上期収益が見込める。

Q2 以降については、中国、台湾、韓国などはコロナ影響について第 2 波が起こらない前提で半導体の本格的な設備増強が見込まれる。同社は半導体製造装置においてプローバが強いせいもあり欧米比率が低く、コロナ影響は軽微で、むしろプラス要素が強い。また 300mm ウエハの新規需要拡大も見込まれ、加工装置の拡大も期待される。一方、計測機器はユーザー業界が厳しい。しかしこちらは国内ウエイトが高く、しかも 2 次電池の充放電試験など電気計測分野で M&A のシナジー効果も期待され、落ち込みは限定的とみられる。このため下期も半導体製造装置の伸長で、計測部門の伸び悩みを補い、通期収益は大幅増収増益に回帰しよう。

22/3 期はコロナ影響の遅れ挽回に加え 5G、IoT、AI などの本格拡大で最高益更新も視野に

22/3 期はコロナ影響で遅れた分の設備増強で投資急拡大が見込まれ、5G 向けも端末本格

普及に伴う半導体需要の拡大、ミリ波対応での5G新規開発投資向けテスト需要の拡大、ポストコロナ社会構築に向けたリモートワークなどで半導体の新たな需要先の拡大も見込まれ、テストの収益上伸、加工装置の本格拡大も見込める。また計測機器も無人化にニーズの高まりで自動計測機器も需要が戻ってこよう。このため、22/3期も収益の上伸が期待され、中期目標の再度最高益更新も視野に入ってくる。

株価は22/3期最高益更新期待で年初来高値4385円目標

同社株価は上方修正を受け1/14に4385円の年初来高値を付けたあと、コロナ影響で相場下落とともに下落し3/23に年初来安値2400円を付けたあと5/11の20/3期好決算を期待し3620円まで戻した状況にある。21/3期は上期のみの予想開示であるものの、先端半導体設備投資需要は根強く、21/3期収益は大幅回復、更に22/3期収益上伸から再度最高益更新が期待される。このため足元は緊急事態宣言延長により株価下押し局面もあり得るが、台湾、中国、韓国での半導体設備投資活発化で株価反騰とともに再度4385円(21/3期DO予想EPS295円に対しPER15倍)の年初来高値奪還を目指す動きとなろう。

東京精密(7729)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
19/3期	101,520	15.1%	20,221	17.0%	20,805	20.1%	14,665	15.3%	352.92	125.00
20/3Q1	17,962	-9.5%	1,802	-42.5%	1,895	-43.5%	1,402	-45.0%	33.70	0.00
20/3Q2	24,032	-23.4%	3,787	-46.8%	3,846	-48.1%	2,860	-46.5%	68.69	38.00
20/3Q3	22,234	-6.3%	3,376	-29.4%	3,427	-28.6%	2,281	-34.5%	54.79	0.00
20/3Q4	23,699	-10.9%	3,317	-36.1%	3,193	-39.1%	614	-81.3%	14.74	38.00
20/3H1期初会予	43,000	-16.0%	5,900	-42.4%	5,900	-45.2%	4,200	-46.8%	101.00	38.00
20/3H1	41,994	-18.0%	5,589	-45.5%	5,741	-46.7%	4,262	-46.0%	102.39	38.00
20/3H2期初会予	45,000	-10.6%	6,600	-33.8%	6,600	-34.3%	4,700	-30.6%	115.00	38.00
20/3H2	45,933	-8.7%	6,693	-32.9%	6,620	-34.1%	2,895	-57.3%	69.53	38.00
20/3期期初会予	88,000	-13.3%	12,500	-38.2%	12,500	-39.9%	9,000	-38.6%	216.00	76.00
20/3期修正会予(11/8)	86,000	-15.3%	12,000	-40.7%	12,100	-41.8%	9,000	-38.6%	216.00	76.00
20/3期	87,927	-13.4%	12,282	-39.3%	12,361	-40.6%	7,157	-51.2%	171.92	76.00
21/3H1会予	47,000	11.9%	7,600	36.0%	7,600	32.4%	5,600	31.4%	134.40	-
21/3H1DO予	47,000	11.9%	7,600	36.0%	7,600	32.4%	5,600	31.4%	134.40	38.00
21/3H2DO予	51,000	11.0%	8,400	25.5%	8,400	26.9%	6,700	131.4%	161.06	67.00
21/3期DO予	98,000	11.5%	16,000	30.3%	16,000	29.4%	12,300	71.9%	295.46	105.00
22/3期DO予	107,000	9.2%	20,500	28.1%	21,000	31.3%	15,800	28.5%	379.54	132.00

四半期累計	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期DO 予
売上高	77,792	88,194	101,520	87,927	98,000	107,000
営業利益	13,659	17,283	20,221	12,282	16,000	20,500
経常利益	13,864	17,316	20,805	12,361	16,000	21,000
親株主帰属純利益	9,909	12,717	14,665	7,157	12,300	15,800
セグメント売上情報	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期DO 予
半導体製造装置売上	50,291	59,523	69,117	56,198	72,500	79,000
計測機器売上	27,501	28,671	32,403	31,728	25,500	28,000
売上合計	77,792	88,194	101,520	87,927	98,000	107,000
セグメント営業利益	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期DO 予
半導体製造装置営利	8,820	11,292	13,195	7,915	13,000	15,000
計測機器営利	4,839	5,990	7,025	4,366	3,000	5,500
営業利益	13,659	17,283	20,221	12,282	16,000	20,500
セグメント受注	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期DO 予
半導体製造装置受注	56,232	73,327	65,335	57,709	75,000	82,500
計測機器受注	27,254	30,651	33,573	29,866	26,000	30,000
受注合計	83,486	103,978	98,908	87,575	101,000	112,500
セグメント受注残	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期DO 予
半導体製造装置受注残	17,647	31,452	27,670	29,182	31,682	35,182
計測機器受注残	6,015	7,996	9,165	7,782	8,282	10,282
受注残合計	23,662	39,448	36,835	36,964	39,964	45,464
	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	
設備投資	4,100	3,500	13,900	7,500	7,500	
減価償却費	2,400	2,500	2,700	3,500	3,500	
研究開発費	6,800	7,200	7,500	8,200	8,200	
四半期累計	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期DO 予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
営業利益	17.6%	19.6%	19.9%	14.0%	16.3%	19.2%
経常利益	17.8%	19.6%	20.5%	14.1%	16.3%	19.6%
親株主帰属純利益	12.7%	14.4%	14.4%	8.1%	12.6%	14.8%
セグメント営業利益率	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期DO 予
半導体製造装置	17.5%	19.0%	19.1%	14.1%	17.9%	19.0%
計測機器	17.6%	20.9%	21.7%	13.8%	11.8%	19.6%

